

平成30年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 1番	氏名 小川 宗寿	質問形式: 一問一答
1. 件名 独居世帯の安否確認について問う		
<p>今年の異常な酷暑によって、村内でも熱中症等の健康被害が発生した。特に独居世帯においては、発見が遅れ、重症化から孤独死に至るといふ最悪のケースも発生してしまっている。</p> <p>日頃、行政や地域コミュニティが独居生活者への見守り・生活支援・健康管理などを充実させておけば、こういった痛ましい事故は回避できたのではないかと。</p>		
1. 村内の独居世帯の現況は		
<p>独居世帯数、高齢独居世帯数、恒常的な生活支援の必要な世帯がどの程度あるのか</p> <p>住民票上は独居ではないが、実態として独居状態となっている世帯などを把握しているか</p>		
2. 民生委員と地域・行政の連携を		
<p>プライバシー等々の問題から、民生委員の仕事はこれまで以上に大変になってきている</p> <p>地域・行政と緊密に情報を共有し、さらにセーフティネットを充実させるべきでは</p>		
3. 地域コミュニティ推進事業について		
<p>高齢化が進むなかで、隣近所との付き合いの重要性は増していくと言われ続けている</p> <p>村が推進している地域コミュニティ事業の実績は、現状をどう総括しているのか、新しい計画はあるのか</p>		
2. 件名 大衡村の都市計画について問う		
<p>ときわ台南住宅団地が想定をはるかに上回る早さで分譲を完了するなど、本村の住居系は整備が進みつつある。さらなる人口増、住民の利便性向上のために、宅地整備と平行して、商業系の充実を検討していく考えはあるか。</p>		
1. 宅地に併設した商店街の整備を		
<p>都市計画法等の制約はあると思うが、宅地と商店街を併設させれば高い相乗効果が期待できるのではないかと。</p>		
2. 今後の宅地整備計画は		
<p>ときわ台南住宅団地以降の宅地整備はどういった規模・手法で進めていくのか</p>		
3. 以前示された商業施設の整備構想について		
<p>以前、商業施設の整備構想が村より示されたことがあるが、その後の進捗は</p>		

平成30年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	2番	氏名	石川 敏	質問形式: 一問一答
1. 件名 高校通学費の支援について				
大衡村は教育・福祉に係る政策について、県内他市町に先んじた取り組みをしており、出生から小中学生までの子育て支援や高齢者の各種支援は手厚いものがあるが、反面学生や若者への支援策が乏しいのではないかとと思われる。				
本村中学生の高校進学については、通学手段なども考慮しなければならない側面もあり、進路選択の障害となっていることもあるのではないかと。				
本村から仙台駅方面へは高速バスが運行しているが、他方面への路線は乗り継ぎが必要な現状である。近隣町では町民バスを他市まで乗り入れて、高校生の通学手段として利用されているが、本村住民バスは高校通学には利用できない。				
授業料は国費支援がされているとはいえ、高校教育に係る諸経費は相当の費用がかかることもあり、保護者の負担軽減や、将来の大衡村を担っていく人材を育成するためにも、高校生の通学費に対する村の支援制度を創設すべきではないかと。				

通告順位	3番	氏名	小川 ひろみ	質問形式: 一問一答
1. 件名 大衡の農業の今後について				
米の直接支払交付金7,500円が今年度から廃止され、農業者のだれもが所得減になることは明らかであり、農地の最適化推進にこれまで以上に取組むことが必要である。				
本村では農業環境整備支援事業補助金と災害復旧支援事業補助金を創設し、農地維持を支援している。農業委員会地区座談会で意見が出されたようだが、現在の支援で対応できるのか。				
農業人口の6割が65歳以上であると言われている。本村でも70歳を超える方々が一生懸命農業に従事している。高齢化と後継者不足にどう対策していくのか。				
1. 直接支払いが廃止されることへの農業者への支援は				
2. 基盤整備をどうしていくのか				
3. 高齢化対策として、装着スーツへの補助金を考えては				
4. 本村でも地域おこし協力隊を創設してはどうか				
5. 草刈機械の無料貸し出しを検討しては				
6. 貸し手と受け手との問題は。その対策は				
2. 件名 先進安全自動車装置の購入への補助金を				
近年、アクセルとブレーキの踏み違いなどにより、高齢ドライバーが当事者となる重大事故が多発している。高齢ドライバーが加害者となる交通事故の抑止と予防安全装置の標準化に向けて、自動ブレーキ等が装備された車の普及促進を図ることを目的とした補助金制度を考えては				

平成30年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 4番	氏名 文屋 裕男	質問形式: 一問一答
1. 件名 大衡村鳥獣被害対策実施隊の現状について		
1. 実施隊の報酬等について、十分な額を支払っているか		
2. 隊員が支払わなければならない経費を全額補助しているか		
3. 黒川地域1市2町1村の実施隊の要綱を共有し、統一しているか		
4. 第1種免許の取得者に対して、免許の書き替え等に関し、十分な説明・補助を行っているか		

通告順位 5番	氏名 山路 澄雄	質問形式: 一問一答
1. 件名 中学校テニスコートと大衡村庭球コートの今後の整備計画は		
1. 村民、特に中学生の保護者より強い要望のあるテニスコートの整備計画をどのように進めているのか		
2. 大衡村庭球コートの劣化状況をどのように認識しているのか		
3. 多数の部員が所属する中学校テニス部の練習に中学校テニスコートは対応できているのか		
2. 件名 放射性汚染物質(牧草)のすき込みについて、村民の十分な納得を得ないで事業を推進するのは何故か		
1. 汚染牧草のすき込みに要する事業費の詳細を聞く		
2. すき込み場所周辺住民及び耕作者・他自治体の理解を得られたのか		
3. 他市町の動静・取り組みをどのように認識しているのか		

通告順位 6番	氏名 佐藤 貢	質問形式: 一問一答
1. 件名 村の太陽光発電施設について質す		
本村でも太陽光発電施設の建設が増えてきている。農地や休耕地を利用した設置はわかるが山林等を造成しての施設は、土砂災害や環境保全の観点からも不安視する住民の声も多くあるが、村としての対応を質す。		
1. 太陽光発電施設設置の許可申請があった場合、村はどこまで関与できるのか		
2. 山林等の造成による開発行為はどこまで認めるのか		
3. 洪水・土砂流出等の自然災害や環境保全などの対策は十分なのか		
4. 買取価格の下落による事業者の倒産が増加しており、社会問題となっているが、村としてどう考えているのか		

平成30年第3回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 6番	氏名 佐藤 貢	質問形式: 一問一答
2. 件名 空き家対策は進んでいるのか		
平成27年第4回定例会で空き家問題に対する取り組みについて一般質問したが、その後はどのように進展しているのか問う。		
1. 空き家実態調査は実施されているのか		
2. 空き家条例を制定すべきと質問したが、その後検討はされているのか		
3. 近い将来、空き家が間違いなく増えるが、村の取り組みは		

通告順位 7番	氏名 佐々木 春樹	質問形式: 一問一答
1. 件名 中心市街地整備計画は進んでいるのか		
平成28年6月議会で村の将来像を論じた際、村長は村民と共に創っていくと答えている。宅地造成事業(ときわ台南団地)が完了し、次の一手をどのように考えているのかを問う。		
1. 中心市街地整備計画の進捗状況は		
県や農政、仙塩広域も絡む地域であることから、なかなか前に進めないが、現状を推進するのか、変更していくのか		
2. 地区計画は、一体的な開発計画をどのように誘導し、拡大を図っているのか		
民間の相談はどのくらいあり、地区内整備計画の具体的な動きはあるのか		
3. 村道の新設は検討されたのか		
地権者や関係団体などの意見集約は行われたのか		
4. 大衡仙台線の現状と村のかかわりは		
宮床工区終了後の動きや、村としての働きかけ等、どのように取組んでいくのか		